



永福学園通信

令和6年1月31日

第9号

東京都立永福学園
統括校長 緒方直彦



新しい年を迎えました



ひと月ほどたってしまいましたが、新年あけましておめでとうございます。今年も皆様から本校の教育に御理解、御協力をいただき、児童・生徒のより良い成長を支援していきたいと考えております。よろしく願いいたします。

今年は元旦から能登半島地震が発災し、多くの方々が被害を受けました。地震やその津波による家屋の倒壊、火災などにより家を失ってしまった方々もたくさんいます。地震から半月以上たち、この原稿を書いている今でも、避難所で生活を続けている皆さんがいることが報道などで伝えられています。

このような状況を見ていると、「自分たちができる支援とは何だろう、何か被災された方にできることはないだろうか。」と考えさせられます。また、あわせて、「自分たちの住んでいるところで起こったらどうしよう。」ということも考えます。

災害はいつ起こるかわかりません。児童、生徒たちもどこで被災するかわかりません。私たち大人は、様々な状況を想定しながら備えをしておかなければならないということを痛感します。

学校では毎月様々な想定をして避難訓練を行っています。「想定外を想定内にしておく」取組が一人一人の安全を守ることに繋がっていくのだと考え、今後も備えを進めていきます。

話は変わりますが、年度末に近付き、部活動などの発表の機会が多くなっています。肢体不自由教育部門ではハンドサッカーの練習に熱がこもってきています。就業技術科では、昨年末に総合文化祭で音楽部や演劇部の発表が行われ、オセロ大会、将棋大会ではマインドスポーツ・サイエンス部の生徒がそれぞれ優勝をするなど活躍しました。年明けにはバスケットボール部が「ゆうあいバスケットボール大会」で男女とも優勝、サッカー部は静岡で行われた全国大会への出場切符を勝ち取り、全国で5位となりました。さらに、2月1日（木）から6日（火）まで、東京芸術劇場で図工・美術作品の展示なども予定されています。

いよいよ年度末となり、児童・生徒は、学習や様々な取組のまとめをしていく時期となりました。1年間の自分の取組を振り返りながら、自分が成長した部分を感じたり、これからの目標を確認したりする期間となります。体調に気を付けながら、有意義な期間にしていきましょう。

副校長 山崎 裕之



One School!! One Team!! 2023



社会貢献活動と地域との交流について

【肢体不自由教育部門】 「永福フラワー大作戦！」

昨年度から、近隣の永福町商店街振興組合と連携した活動を行っています。今年度は、小学部3、4年のうち、ある学習グループの児童たちが永福町駅前花壇の植栽活動に取り組んでいます。

まず、商店街の生花店の店長さんが、花のポット苗を学校に運んでくださいました。その際、店長さんから花の名前、ポットからプランターへの移し方、水やりの仕方等についての説明を受けました。子供たちは、色とりどりのお花を前に目を輝かせていました。

次に、花苗をプランターへ移し替える作業を行いました。土に触れそっとお花を移し替える作業は貴重な体験でした。

準備が整ったところで、後日プランターを持って永福町駅前花壇へ出発！「永福学園」とプレートのある場所にプランターを置き、水やりを行いました。今年度は、計8個のプランターを設置することができました。

今後も植栽活動をとおして、子供たちが植えた花々が、永福町駅や商店街を利用する方々との交流につながっていくように進めていきます。

(主任教諭 山本 恵理)



【就業技術科】 「地域とつながり、社会で貢献」

職業に関する専門教科「ビルクリーニングコース」の2年生と3年生が近隣にある明治大学や永福体育館、物流配送センターで窓清掃や会議室清掃に取り組んでいます。生徒たちからは、『『ありがとう』と言われ、駅や商業施設にも清掃に行きたいと思った。』『人が通るとき、通路をふさがないように気を付けて作業した。授業で勉強したことを生かして役に立ちたい。』などの感想があがりました。生徒たちは現場実習で実践学習の体験を積んでいます。更に地域での活動をとおして、自己有用感をもつことが、社会貢献や市民的キャリアを考える自主性の成長につながっています。

(主幹教諭 森川 崇)



★編集後記★

地域とのつながりの大切さをこの能登半島地震でもあらためて痛感しました。在住地域だけでなく、一日の多くの時間を過ごす永福学園においても、近隣との関係を構築していく重要性を感じます。学習の中で「社会交流の充実」や学校レガシーである「社会貢献活動」を位置付け、児童・生徒の自己有用感を高めていくと同時に、地域の方々と顔の見える関係であることを目指していきます。

主幹教諭：岩瀬 まり

東京都立永福学園

副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉
主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381

<https://www.eifuku-sh.metro.ed.jp/>